



<2月号>  
**朝三中だより**

朝霞市立朝霞第三中学校  
令和4年2月1日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1  
TEL 048(464)7575  
FAX 048(460)2280

## 見方を変えて

校長 杉山 巖

陽が沈む時刻もだんだんと遅くなり、5時半では西の空にまだ夕焼けが残る、そんな季節になりました。時間の流れはこんなコロナ禍の中でも平等で、例年と同じように過ぎていきます。

本来なら、2月の学校だよりは、スキー林間学校や川越フィールドワークについて、感想を述べるところですが、**1、2年の校外行事は3月に延期**にしました。

今回は延期しても**キャンセル料金等発生せず**、旅行費用についても変更無しで実施が可能と言うことで、急でしたが延期としました。この後1ヶ月で新型コロナウイルスの**感染状況が改善してくれることを期待**して準備していきたいと考えています。それに伴い、期末テストの日程等も変更になりますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、生徒の皆さんには先日の朝会で「**高校生、高専生科学技術チャレンジ**」というコンテストの最終審査の発表が行われ、そこで**水素エネルギーに関する研究**の発表をした高校があったことを話しました。覚えていますか。

現在、世界のエネルギーは化石燃料、いわゆる石油や天然ガスに依存しているところが大きいですが、これらは、いつか枯渇してしまうはずなので、太陽光発電などの再生可能エネルギーやエネルギー効率の高いエネルギーへの変換の促進が必要とされています。

その中で水素エネルギーは二酸化炭素を出さないエネルギーとして注目されるエネルギーの一つです。ただし、**水素は液化しにくく、爆発の危険があつて扱いにくい**という問題があります。その水素を**安全に貯蔵する方法に関する研究**をした発表です。水素を水素(H<sub>2</sub>)として考えるのではなく、アンモニア(NH<sub>3</sub>)の一部の水素原子として考えアンモニアとして扱うと、生成や貯蔵など扱いやすくなるのではないかという研究です。コストの面では従来の400倍もかかるらしいので実用化はまだまだ先かもしれませんが、安全に扱えるというのは夢のある話です。

ものごとに対して「なんでだろう」と疑問を持ち、「なんとかならないか」と試行錯誤する。**見方を変えたり、アプローチの仕方を変えたり**、色々やってみる。そのものズバリではなく、**別の方法で迫ってみる**と周り道になるかもしれませんが、試していくうちに**できないことが可能になる**かもしれません。

理科学的な研究に限った話ではありません。普段の生活の中のなかなか解決しない課題も、**見方や考え方やアプローチの仕方を変えて**、試して見ましょう。**いろいろな角度からものごとを眺め**迫れると糸口が見つかるかもしれません。

3年生は、卒業式を終えるといつもより時間ができます。1、2年生は部活が縮減された分、時間ができました。新型コロナウイルスへの対応は、まだまだ続くようですが、この**生み出された時間をチャンス**と思い、**せつかくのチャンスを有意義に使い**、試行錯誤してみましよう。